

教育心理学実験Ⅰ

科目ナンバリング EDP-202

選択 2単位

山村 豊・神田 尚

1. 授業の概要(ねらい)

教育心理学の諸領域における事象に関わる諸実験・検査・観察等に、実験者(検査者)および被験者(被検査者)として参加体験することにより、実験的・検査的技法や実証的技法に関する基礎的体系的知識を修得することを目的とする。

全受講者を2つの班に分け、各課題の担当教員(山村豊・神田尚)の指導のもとに班ごとに実験・検査を行う。各自が実験者・実験参加者(検査者・被検査者)になり実験・検査を実施し、得られたデータを各自が分析し、レポートを提出する。1課題につき2～3週間を当て、4種類の課題(パーソナルスペース、性格検査、錯視、知能検査)を行う。

なお、この科目は認定心理士の資格を取得するための必修科目であるが、認定心理士の取得を希望しない学生も受講できる。

2. 授業の到達目標

実験計画・手続きに基づいて実験・検査を行い、得られたデータを分析し、その結果に基づいてレポートを作成することができる。また、課題に関する文献を探し、それらを吟味・分析して、総合的に考察することができる。

3. 成績評価の方法および基準

レポートにより評価を行う(各25%)。各課題のレポートを全て提出しないと単位は認定されない。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

関連する文献(図書・論文等)を精読すること。

6. その他履修上の注意事項

科目の性格上、正当な理由なしに欠席・遅刻した場合には、以降の受講を認めないこともある。また、欠席した場合、補講を必ず行うので、担当教員・助手と補講の日程調整を行うこと。「教育調査・心理学実験室」を積極的に活用してほしい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション、グループ編成
教育心理学に関わる実験・観察・検査・測定・調査について |
| 【第2回】 | 〔山村〕A班: パーソナル・スペース(1)実験の説明、実験の実施
〔神田〕B班: 性格検査(1)心理査定について、YG性格検査の実施 |
| 【第3回】 | 〔山村〕A班: パーソナル・スペース(2)結果の整理
〔神田〕B班: 性格検査(2)クレペリン作業能力検査の実施 |
| 【第4回】 | 〔山村〕A班: パーソナル・スペース(3)レポートの執筆
〔神田〕B班: 性格検査(3)2種の性格検査の考察 |
| 【第5回】 | 〔神田〕A班: 性格検査(1)心理査定について、YG性格検査の実施
〔山村〕B班: パーソナル・スペース(1)実験の説明、実験の実施 |
| 【第6回】 | 〔神田〕A班: 性格検査(2)クレペリン作業能力検査の実施
〔山村〕B班: パーソナル・スペース(2)結果の整理 |
| 【第7回】 | 〔神田〕A班: 性格検査(3)2種の性格検査の考察
〔山村〕B班: パーソナル・スペース(3)レポートの執筆 |
| 【第8回】 | 〔山村〕A班: 錯視(1)実験の説明、実験の実施
〔神田〕B班: 知能検査(1)心理査定について、集団式知能検査の説明と実施 |
| 【第9回】 | 〔山村〕A・B班: パーソナル・スペース(4)レポートの返却と指導
〔神田〕A・B班: 性格検査(4)レポートの返却と指導 |
| 【第10回】 | 〔山村〕A班: 錯視(2)結果の整理
〔神田〕B班: 知能検査(2)WAIS-IVの説明と実施 |
| 【第11回】 | 〔山村〕A班: 錯視(3)レポートの執筆
〔神田〕B班: 知能検査(3)WAIS-IVの結果の整理とアセスメント作成 |
| 【第12回】 | 〔神田〕A班: 知能検査(1)心理査定について、集団式知能検査の説明と実施
〔山村〕B班: 錯視(1)実験の説明、実験の実施 |
| 【第13回】 | 〔神田〕A班: 知能検査(2)WAIS-IVの説明と実施
〔山村〕B班: 錯視(2)結果の整理 |
| 【第14回】 | 〔神田〕A班: 知能検査(3)WAIS-IVの結果の整理とアセスメント作成
〔山村〕B班: 錯視(3)レポートの執筆 |
| 【第15回】 | 〔山村〕A・B班: 錯視(4)レポートの返却と指導
〔神田〕A・B班: 知能検査(4)レポートの返却と指導 |